

1団体3,300万円全額国庫補助

# 高齢者生活支援施設等整備費補助金

みなさんは  
どう思います？

できあがって見たら…普通のレストラだった？

「出来上がったみたら、普通のレストラだった？」。2年前、全額国庫補助を受け、地域の高齢者の居場所づくりの趣旨で整備された「かたたや」(写真)。「これは、普通の飲食店では…」と市議会でも問題になり、数回は是正指導を受け、以後改善されているとのことですが、この補助金制度は、「高齢者生活支援施設等整備費補助金」。一団体に300万円が補助されます。全額国費なので市費は1円も入っていないものの、税金には変わりありません。制度の趣旨が生かされていないのでは…と疑問の声が出ています。

## 新年度も市内3団体が申請の動き…

2年前、国の地域介護・福祉空間整備等交付金に、いち早く手をあげたのが「かたたや」でした。市が実施要綱を策定するより前に、国の制度に乗っかつ

たもの。これでは公平性を欠くのではないかと、市が公募要綱を作成し、事業所を公募。これに基づいて、次に手をあげたのが立田自治会。昨年、この補助

金を活用して、自治会館を改修して「立田いきいきクラブ」を設置しました。「かたたや」については、議会で、市民からも、「補助金



守山2丁目にある「かたたや」。古民家を改装したおしゃれな飲食店として、人気はあるが、これが高齢者のための生活支援施設…??と疑問の声も。



守山市立田町にある「立田いきいきクラブ」。自治会が運営。高齢者の居場所として開設されたものの、1月の行事予定をみたら活用されているのは4日間だけ？

の趣旨に合致していないのでは」との批判が相次ぎ、その後は是正指導されたとはいえ、いまだに、高齢者支援施設というより、「飲食店」です。「立田いきいきクラブ」の場合は、「男性料理教室」や「地域の高齢者の生きがいづくり」が計画書にあげられています。玄関の行事予定表には、空欄が目立ち、施設が十分に活用されているかどうか疑問です。運営主体が自治会というのは、事業を継続的に定期的に行うには負担が大きいのでは、という気がします。このように、建物は建てたものの、有効な事業実施がなかなか困難というのが実態です。しかし、来年度も3つの団体(玉津、守山、河西学区)に1自治会と2民間)が申請する見込みです。市からの持ち出しはなく、運営費も施設管理費も事業所持ちで、市の懐は痛まないものの、1億円近いお金が税金であることに変わりありません。施設整備するのなら、行政が全市を見渡し、市民に公平に税金が使われるべきであり、その運営は、担当者の配置も含め、十分な活用を行政が積極的に支援することが求められるのではないのでしょうか。

## 時局を語る



菅首相は消費税増税、TPP推進を強調しています。しかたがないことでしょうか。日本共産党の市田忠義書記局長・参議院議員が時局をわかりやすく語りま

# 市田忠義

書記局長  
参議院議員

# 来たる

## 日本共産党演説会

2月6日(日)午後3時  
大津市民会館大ホール

日本共産党

# 守山民報

守山市議会議員

こまき一美

TEL・FAX 582-3785  
http://komaki.jcp-web.net/

党守山市くらし対策責任者

まつば栄太郎

TEL 584-3077  
FAX 584-3466

日本共産党守山市委員会発行

512号

2011・1・26

TEL 583-8552

FAX 583-1098

毎週木曜日 午後5:45~6:45 守山駅で街頭宣伝しています。